

文京区リサイクル清掃審議会 第 1 回廃プラスチック検討部会の報告について

- I 日 時 令和 2 年 7 月 6 日 (月) 午後 3 時 00 分～午後 5 時 05 分
II 場 所 文京シビックセンター 24 階 第 1 委員会室
III 出席者 【委員】南部 (座長)、永瀬、阿部、小西、村田 (重)、浅野、小堺、篠木
【関係者】栗原 (委託事業者)
【幹 事】八木、村田、村岡

(1) 計画の背景について

- ・現状の生活にはプラスチックは欠かせない、プラスチックごみ削減は重要であるが難しい、分別収集を考えるには費用対効果が必要、このままサーマルリサイクルでよいのか、など、プラスチック問題全般に関する意見があった。

(2) 基本指針について

- ・発生抑制が基本、動物・植物由来のものへの変更、エコバッグを利用する生活に慣れること、消費者が望むことを事業者に伝えることが必要、レジ袋だけが集中的に取り上げられている、ライフスタイルの転換とは何から始めればよいのか、などの意見があった。

(3) 目標値の設定について

- ・高い目標値である、数値だけではわかりにくいので、「トレイ 1 枚が何グラム」など具体的にイメージできる目安が必要との意見があった。
- ・レジ袋によるごみ出しと、ポリ容器によるごみ出しについての意見があった。

(4) 進捗管理について

- ・ごみ組成分析調査は中間年度見直し時に予定しているため、来年度はレジ袋削減に係る区のデータは出ないが、全国的な傾向は把握できるのではないかと思われる。
- ・中間年度見直し時に行われるアンケート調査について、調査方法や件数についてはよく検討し、適切な指標をつくるために行われるよう意見があった。

(5) 容器包装プラスチックの分別収集について

- ・何が容器包装プラスチックなのかがわからない、分別収集は経済面も考慮する必要がある、きちんと分別をすれば海洋ごみにはならないなどの意見があった。

(6) 具体的な施策について

- ・区の率先した取組として、マイボトルの持参などについて検討している。
- ・回収拠点の拡充、映像などを活用したわかりやすい普及啓発などの意見があった。

(7) 区民・事業者・区の行動計画について

- ・厳密に考えずできることから実施、姉妹都市と共同で環境教育を実施する、消費者は過剰包装を求めていることを事業者に対して発信したらとの意見があった。
- ・化石燃料由来のプラスチックという表現がわかりにくいとの意見があった。
- ・マイクロビーズの使用の有無は外見ではわからないとの意見があった。